

# 地理的に離れた場所に点々と分布する稀少種の現状を、 形態と DNA 塩基配列情報を使って調べています



自然・環境評価研究部 系統分類研究グループ

秋山 弘之

日本には、絶滅危惧種としてコケ植物が 283 種指定されています。2021 年現在で日本から約 2000 種弱のコケ植物が知られていますから、全体の 14.2%にあたります。稀少種は特定の環境を選択する傾向があります。生育に適した環境が離れた場所にしか存在しない場合、各地の集団の間でどのような関係が維持されて進化の道筋をたどるのでしょうか。現地調査と、形態の比較、DNA 塩基配列情報を使ってその秘密を探っています。一例としてヒロハコモチトゴケという非常に小型の着生性蘚類の成果を紹介します。これまでただ 1 種とされていたのですが、実は 3 属 6 種から成り立ち、そのうちの 2 属が新属、3 種が新種であることがわかりました。新しく記載された新属新種あるいは新種の蘚類 3 種

